

# 「温泉の奥深さ実感」



四角い座布団を北海道に見立て、道内の温泉地を紹介する小野寺さん

「おぼんでした」で「温泉に行こう！」のコーナーを担当する小野寺淳子さんから温泉に詳しい3人が講師を務めた。温泉観光地での取り組みや、科学的な視点から温泉の成り立ちなどを解説した。

小野寺さんは「北海道の湯、世界の湯」と題し、道内各地やイタリヤ北東部のアバノ温泉での温泉泥療法などを紹介した。「火山灰を泥にしたものを体に塗り込んで汗だくになる。肌はツルツル、むくみもなくなった」と自身の体験も交えて語った。

今回初めて受講したという東京大温泉サークル代表で3年の橋本惇さん(20)は「さまざまな切り口から話を聞き、改めて温泉の奥深さを実感した。13日のアイヌ語地名の講座も楽しみです」と話した。

同講座は、団体客の減少に伴う温泉旅館の経営不振に加え、ここ数年の事故や偽装などで温泉に対する不信が広がる中、温泉の正しい理解と温泉地の活性化を担う人材育成

を目的に、2009年から始まった。これまで東京や大阪、別府で開催し、今回で17回目。初日の12日は、温泉観光実践士協会の浦達雄会長のほか、北海道新聞夕刊の情報ペ

## 登別 道内初の「プロ」養成講座

【登別温泉】「温泉のプロ」を育てる「温泉観光実践士養成講座」(温泉観光実践士協会、登別国際観光コンベンション協会共催)が12日、登別温泉町の第一滝本館で始まった。2日間の日程で、道内初の講座に全国各地から観光業に携わる人や学生など133人が参加し、温泉の知識を深めた。

(今関茉莉)

2018年

5月13日

日曜日

発行所

北海道新聞社

〒060-8711 札幌市  
中央区大通西3丁目6  
電話011-221-2111  
https://www.  
hokkaido-np.co.jp

読者センター

011-210-5888  
(日曜・祝日除く9時~18時)

ご購入申し込み

0120-464-104  
ヨムヨムドーン

# 北海道新聞